

専門分野Ⅱ・成人看護学実習の計画

実習目的	成人期にある対象の特性を踏まえ、経過およびセルフケア能力に応じた看護実践ができる。		
授業科目	成人看護学実習Ⅰ	成人看護学実習Ⅱ	成人看護学実習Ⅲ
実習目標	1. 患者が望む生活やおかれている状況を理解し、必要な援助について考えられる。	1. 患者の望む生活やおかれている状況を理解し、必要な援助について考えられる。	1. 患者・家族の望む生活や状況を理解した看護の判断ができる。
	2. 疾病や治療の経過、症状に応じた援助が考えられる。	2. 疾病や治療の過程、症状に応じた援助ができる。	2. 多様な健康状態にある患者・家族に対して、健康レベルを踏まえた看護が実践できる。
	3. 患者の苦痛や気がかりに関心を寄せることができる。	3. 患者の苦痛や気がかりに関心を寄せ、尊重した態度がとれる。	3. 患者・家族との援助関係が形成できる。
	4. 患者の看護に責任をもつ行動について理解できる。	4. 患者の看護に責任をもつ行動について理解できる。	4. 患者の看護に責任をもつ行動がとれる。
実習方法	周手術期・慢性期・回復期にある患者への看護実践	周手術期・慢性期・回復期にある患者への看護実践	多様な健康状態（生命危機、終末期）にある患者・家族への看護実践
	1グループ3～6名の配置	1グループ3～6名の配置	1グループ3～6名の配置
実習時期	2年次後期	2年次後期	3年次
単位・時間数	2単位 90時間	2単位 90時間	2単位 90時間
評価	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。実習評価表は実習要綱に提示する。	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。実習評価表は実習要綱に提示する。	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。実習評価表は実習要綱に提示する。
先修条件	基礎看護学実習Ⅲの単位修得 成人看護学概論の履修		成人看護学概論、成人看護学援助論Ⅰ～Ⅳ、成人看護学援助論演習、成人看護学実習ⅠⅡの履修 基礎看護学実習Ⅲの単位修得